

※必ず黒色のボールペンで記入してください。鉛筆や消せるボールペンは使用できません。
※設問1・3・4・5・6・7・8・9は、スカラネット入力下書き用紙の記入内容と一致させてください。

学籍番号	学部・学科	学年	フリガナ 氏名(自署)

【奨学金申込情報】

1. 本学への入学について、入学年月および入学課程を回答してください。<スカラネット入力下書き用紙 5ページ>
西暦 年 月に本学の 年次に ☐ 入学 ☐ 編入学または転学 ☐ した
2. 現在受けている奨学金制度はありますか。(複数選択可)
☐ 高等教育の修学支援新制度(給付奨学金) ☐ 第一種奨学金 ☐ 第二種奨学金
☐ 日本学生支援機構の奨学金は利用していません
3. 高等教育の修学支援新制度(給付奨学金及び授業料等減免)の**新規申し込み**を希望しますか。<スカラネット入力下書き用紙 4ページ>
※「多子世帯の大学無償化制度」の希望者は、高等教育の修学支援新制度の申請が必要です。
☐ 希望します ☐ 希望しません
4. 貸与奨学金の**新規申し込み**を希望しますか。<スカラネット入力下書き用紙 4ページ>
☐ 希望します ☐ 希望しません
↳ 該当するものを1つだけ選択してください。

奨学金申込情報(スカラネット入力時)の表示	解説
☐ (1) 第一種奨学金のみ希望します。	第一種奨学金が不採用となっても第二種奨学金は希望しない。
☐ (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合は第二種奨学金を希望します。	第1希望:第一種 第2希望:第二種 第一種奨学金が不採用となった場合は、第二種奨学金を希望する。
☐ (3) 第二種奨学金のみ希望します。	第一種奨学金の基準に該当しない。または第一種奨学金を希望しない。
☐ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。	第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、奨学金を希望しない(どちらか一方のみの貸与は希望しない)。
☐ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。	第1希望:第一種と第二種(併用) 第2希望:第一種 第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、第一種奨学金を希望する(第二種奨学金のみの貸与は希望しない)。
☐ (6) 併用貸与不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。	第1希望:第一種と第二種(併用) 第2希望:第一種 第3希望:第二種 第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、第一種奨学金を希望するが、不採用の場合は、第二種奨学金を希望する。
☐ (7) 併用貸与不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。	第1希望:第一種と第二種(併用) 第2希望:第二種 第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、第二種奨学金を希望する(第一種奨学金のみの貸与は希望しない)。
☐ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。	貸与中の第二種奨学金から、第一種奨学金への変更を希望する。
☐ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。	貸与中の第一種奨学金から、第二種奨学金への変更を希望する。
☐ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。	貸与中の第一種奨学金に加えて、第二種奨学金の貸与を希望する。
☐ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。	貸与中の第二種奨学金に加えて、第一種奨学金の貸与を希望する。
☐ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。	第1希望:第一種と第二種(併用) 第2希望:第二種への変更 貸与中の第一種奨学金に加えて、第二種の貸与を希望する。第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、第二種奨学金への変更を希望する
☐ (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。併用貸与不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。	第1希望:第一種と第二種(併用) 第2希望:第一種への変更 貸与中の第二種奨学金に加えて、第一種の貸与を希望する。第一種奨学金と第二種奨学金を両方同時に貸与が受けられなければ、第一種奨学金への変更を希望する

【申請者本人情報】

5. あなたの国籍を選択してください。<スカラネット入力下書き用紙 3ページ>

- ☐ 日本国籍
- ☐ 日本国籍以外

→ 在留資格および証明書類について、該当するものを選択してください。

[資格の種類]	
☐ 永住者・特別永住者	☐ 日本人の配偶者等
☐ 永住者の配偶者等	☐ 定住者
☐ 家族滞在	
[証明書類]	
☐ 提出します（書類名：_____）	☐ 提出できません(➡ 申請不可)
※在留資格が「家族滞在」の方は、「出入国記録の写し」(原本)も必要です。	

6. 通学形態を選択してください。<スカラネット入力下書き用紙 6ページ>

- ☐ 自宅通学（またはこれに準ずる）
- ☐ 自宅外通学

→ 該当するものを選択してください。

[証明書類]※高等教育の修学支援新制度(給付奨学金)を申請する方のみ	
☐ 提出します（書類名：_____）	☐ 提出できません(➡ 自宅外通学は選択不可)

7. あなたは社会的養護を必要とする人ですか。<スカラネット入力下書き用紙 13ページ>

- ☐ はい(社会的養護が必要)

→ 該当するものを選択してください。

[社会的擁護の形態]	
☐ 児童養護施設入所者等	☐ 児童自立支援施設入所者等
☐ 児童心理治療施設入所者等	
☐ 自立援助ホーム入所者等	☐ 里親に養育されている(いた)人
☐ ファミリーホームで養育されている(いた)人	
[証明書類]	
☐ 提出します（書類名：_____）	☐ 提出できません(➡ 社会的養護は選択不可)

- ☐ いいえ

【生計維持者およびマイナンバー(個人番号)情報】

8. あなたの生計維持者(原則父母2名、ひとり親の場合は1名)を全て選択してください。<スカラネット入力下書き用紙 13～15ページ>

- ☐ 父 ☐ 母 ☐ その他（_____）

9. あなたと生計維持者は、マイナンバー(個人番号)を日本学生支援機構に提出できますか。<スカラネット入力下書き用紙 18ページ>

- ☐ 全員提出できます
- ☐ 提出できない人がいます

→ 提出できない人の情報を記入してください。

氏名	_____	続柄	☐ 申請者本人	☐ 父	☐ 母	☐ その他（_____）
[提出できない理由]						

【申請理由】

10. 奨学金を希望する理由について、該当するものを選択してください。(複数選択可)

- ☐ 経済的理由により、修学の継続が困難であるため
- ☐ 多子世帯に該当し、授業料等減免制度の支援を希望するため。

→ 該当するものを選択してください。

- ☐ 私は、多子世帯の授業料等減免が高等教育の修学支援新制度(給付奨学金)により実施されることを十分に理解しています。
- ☐ 私は、多子世帯の授業料等減免について理解できていません。(➡ 申請不可)

記入漏れや間違いがないか、申請前に必ず確認してください。